

鎌倉市固定資産土地評価システム構築業務委託公募型プロポーザル審査基準公表用

項番	審査項目	参照資料	審査の基準 ※網掛部分は事務局による書類採点項目	配点
1	実施体制について	様式4-3 業務提案書 実施体制調書	(管理技術者) ※実施体制について、業務経験豊かで適切な技術者が配置されているか (システム構築業務仕様書5(3)のとおり)	10
			(照査技術者) ※実施体制について、業務経験豊かで適切な技術者が配置されているか (システム構築業務仕様書5(3)のとおり)	10
2	提案内容(提案項目1)について (システム概要について)	業務提案書	システム概要について ①他自治体(特に本市と同規模以上の自治体)における導入実績のあるパッケージ製品を提案しており、契約内でパッケージ機能の向上がされることが示されている。 ②税基幹システムとの連携を前提とした提案をしている。	10
			システム全体構成について ①システム全体構成図が視覚的に分かりやすく記載されている。 ②機密性や効率性を考慮していることが分かりやすく記載されている。	10
3	提案内容(提案項目2)について (システム機能について)	業務提案書	他自治体における業務効率化事例で本市において有益な独自機能が提案されているか (例) ①異動情報の管理機能 ②進捗管理機能 ③市民対応等の履歴管理機能 等	40
4	提案内容(提案項目3)について (サービス提供環境について)	業務提案書	※提供システムの認証取得等について ①地方公共団体情報システム機構(J-LIS)のアプリケーション及びコンテンツサービスリストに登録されている。 ②その他、取得している認証取得等について記載されている。	10
			セキュリティ対策について、以下の項目が記載されているか ①作業場環境 ②資料授受体制 ③ウイルス対策	10
			障害復旧対応及び体制について、以下の項目が提案されているか ①災害時に対する備えについて ②障害時における連絡体制や復旧手順について	10
5	提案内容(提案項目4)について (システム構築について)	業務提案書 業務工程表	業務工程について ①受注者の業務実施体制、行程毎のチェック体制が分かりやすく記載されている。 ②市職員が実施すべき内容・期間が分かりやすく記載されている。 ③システム運用開始までの検証期間が十分に考慮されている。	10
			データ移行について ①データ移行及びデータ検査の作業手順が分かりやすく記載されている。 ②貸与されたデータの破損・変更等の確認作業について記載されている。 ③データの搭載漏れの対策が記載されている。 ④データ移行に関する職員の負担軽減について記載されている。	10
6	提案内容(提案項目5)について (操作研修について)	業務提案書	操作マニュアルについて ①操作マニュアルについて具体的な提示があり、内容が妥当である。 ②操作マニュアルの活用方法について言及している。	10
			基本機能及び土地評価業務機能について、操作研修方針、カリキュラム、スケジュールが分かりやすく記載されている。	10
7	提案内容(提案項目6)について (システム運用保守について)	業務提案書 土地評価システム運用業務 委託仕様書4(10)才及びカ	システム保守について ①仕様書の保守要件が漏れなく分かりやすく記載されている。 ②職員の負担軽減を図るための提案がされている。	10
			運用サポートについて ①仕様書の運用サポート要件が漏れなく分かりやすく記載されている。 ②職員の負担軽減を図るための提案がされている。	10
8	提案内容(提案項目7)について (独自提案について)	業務提案書	独自提案について、分かりやすく記載されているか。 (例) ①固定資産業務全般の業務効率化・高度化について ②固定資産業務に関わる他システムとの連携について ③セミナーや勉強会等の開催について ④その他、提案システムの特徴、優位性等について	20

9	プレゼンテーション及び デモンストレーションについて	業務提案書 機能要件一覧	機能要件一覧の『画像標定』『画地認定計測』についてデモンストレーションが分かりやすく明確か。(※必要に応じ、審査委員が事務局職員の見解を聴取する場合がある。)	105
			①測量図、建築確認概要図面等のスキャンデータを取込み、画像の標定ができる。(項番58)	
			②標定した画像内で画地認定計測ができる。(項番59)	
			③画地の認定や間口奥行き計測、想定整形地の自動・手動による生成ができる。(項番60)	
			④画地及び生成された想定整形地をもとに陸地面積を計測、割合を自動計算できる。(項番61)	
			⑤陸地割合をもとに不整形補正率を自動計算できる。(項番62)	
			⑥画地認定計測した図形を年度管理できる。(項番63)	
			⑦がけ地補正・高圧線補正・都市計画道路補正・土砂災害警戒/特別警戒区域等が画地と掛かる面積割合を算出し、その結果から補正率を自動取得できる。(項番64)	
			機能要件一覧の『評価額試算』についてデモンストレーションが分かりやすく明確か。(※必要に応じ、審査委員が事務局職員の見解を聴取する場合がある。)	120
			①地目、地積、間口奥行き、異動等の情報を入力し評価額の試算ができる。(項番65)	
②地図上で試算結果を確認できる。(項番66)				
③評価額試算過程の補正率を自動計算できる。(項番67)				
④評価額試算結果をCSV等でリスト出力できる。(項番68)				
⑤最新の登記情報(所有者等)を取込み、評価額試算画面に反映できる。(項番69)				
⑥画地計測結果を取込み、評価額試算画面に反映できる。(項番70)				
⑦土地の調査票を印刷できる。(項番71)				
⑧評価額試算した結果を年度管理できる。(項番72)				
機能要件一覧の『登記管理』についてデモンストレーションが分かりやすく明確か。(※必要に応じ、審査委員が事務局職員の見解を聴取する場合がある。)	45			
①法務局から提供される要約書や登記済通知書等の電子データを自動で取込み、履歴管理ができる。(項番73)				
②登記情報を用いて地図を色分け表示し異動箇所が把握できる。(項番74)				
③地図より法務局図面が参照できる。(項番75)				
	プレゼンテーション及びデモンストレーションが分かりやすく、説得力があるか、質疑応答が適切かどうか		10	
	業務に対する取組意欲が高く、熱意が感じられるか		10	
10	費用について	見積書	システム構築費用が妥当かどうか	10
			システム運用費用が妥当かどうか	10
合計				500